

越境するパートナーシップ

～地域コミュニティの「今」と「今後の可能性」について～

その地域での人脈、場所、ノウハウ、アイデア、情熱を持っている人、つなぐ人が企業や行政、NPOなどの枠を超えて、地域づくりを進める時代になりました。

社会的なコミュニティや仕事を通じた繋がりも、人口減少や高齢化等の社会情勢の変化に伴い、これまでの活動や事業を基盤としながらも、これからの地域社会の中での自らの役割を再定義し、新たな方向性を様々に模索しているのではないのでしょうか。

「お寺」や「生活協同組合」は、従来の役割のほか、地域と共生していくための連携を積極的に模索しています。立場や所属するコミュニティが違って、地域では同じような課題があるのではないのでしょうか？

今回、「越境するパートナーシップ」をテーマに、地域コミュニティの「今」と「今後の可能性」について語り合しましょう。

【日時】令和元年7月6日(土)
13:30～16:30 (受付13:00～)

【会場】^{こうくんじ}光薫寺 (第二本堂)
(福岡市博多区山王1-11-11)



講師紹介



■松本 紹圭氏
東京神谷町・光明寺僧侶。東京大学文学部哲学科卒。武蔵野大学客員准教授。2012年、住職向けのお寺経営塾「未来の住職塾」を開講し、7年間で600名以上の宗派や地域を超えた若手僧侶の卒業生を輩出。『掃除道入門 SOJI-DO ころを磨く、世界を磨く掃除の教え』他、著書多数。



■小林 信翠氏
光薫寺住職。「敷居は低く、間口は広く、奥行きは深く」という先代住職の教えに従い、“地域に開かれたお寺”を目指している。座右の銘は「至誠、仏天に通ず」(小林家の家訓)、趣味はランニング。



■新垣 香織氏
一般社団法人WハートK&M マネジメントリーダー。福岡県行橋市在住。1女2男の母で両親他9人の大家族。家事や育児をする一方、フリーランスとして活動。その他にもエフコープキッズプログラミングの講師やPTA活動、地域活動など多種多様な活動を行っている。

プログラム

【第1部】基調講演

テーマ：越境するパートナーシップ

松本 紹圭氏 (「未来の住職塾」塾長)

【第2部】パネルディスカッション

コーディネーター：吉田 まりえ氏 (風景デザイン研究会幹事)

パネラー：松本 紹圭氏 (前掲)

小林 信翠氏 (本門仏門宗長山光薫寺住職)

新垣 香織氏 (一般社団法人WハートK&M)

【第3部】フロアディスカッション

- ・タム①：所属、参加動機、今日の感想について
 - ・タム②：あなたが今日の話を受けて持って帰ること
- ※閉会后、近隣で懇親会を開催予定！
(会費制：3,000～4,000円程度)

対象 | 異分野のコラボレーションによる地域づくりに関心がある方 (寺社および生協の関係者、コンサルタント、建築士、NPO、行政など)、など

定員 | 80名 (先着順)

参加費 | 風景デザイン研究会 会員：1,500円
非会員：2,500円・学生：1,000円

主催 | 風景デザイン研究会

お申込み・問い合わせ先

メールに件名に「オープントーク申込」、メール本文に「①氏名、②所属、③連絡先 (電話番号)、④風景デザイン研究会の会員・非会員、⑤懇親会への参加・不参加」について記載の上、下記アドレスまでお申し込みください。

E-mail : info@fukei-design.jp (担当：事務局 伊東)

建設コンサルタンツ協会の
CPD 認定プログラム
(3.0単位)